

## 姫路市産業振興推進会議〔第25回〕議事録

1 日 時：令和5年8月30日（水）16：00～17：00

2 場 所：姫路市防災センター5階 災害対策本部会議室

### 3 出席者

委 員：10名（別紙のとおり）

姫路市： 8名（別紙のとおり）

### 4 内 容：

#### (1) 報 告

経済振興ビジョンに基づく取組について（資料1～4）

※商工労働部長説明

#### (2) 意見交換

① 物価高騰の状況と対応について（資料A）

② 姫路市工場立地促進制度について（資料B～D）

③ 外国人材について（資料E、F）

### 5 参加者発言概要

#### 4-(2) 意見交換

##### ○H委員

本日は「①物価高騰の状況と対応について」、「②姫路市工場立地促進制度について」、「③外国人材について」の3つのテーマについて、どのテーマについての意見でも結構なので、順に意見を伺いたい。

##### ○I委員

我々の大学の学生が地域で就職し、貢献していくという点から、外国人材も含め、企業がどのような人材を求めておられるのかを伺いたい。

外国人材では、工場や、観光等のサービス業における従事者を多く求められているように感じている。大学の無償化や、それに伴い、外国人留学生を増やす話もあるが、大学から外国籍の高度人材を輩出した際に、姫路市での雇用はあるも

のなのか意見を伺いたい。

#### ○事務局

資料F、10 ページにある「地域別・在留資格別外国人労働者数」から分かるように、神戸や灘等の都市部と比べ、姫路市では、在留資格が「技能実習」や「身分に基づく在留資格」の労働者が多く、「専門的・技術的分野の在留資格」の労働者が若干少ない。

このことから、高度人材が必要とされる職が都市部に集中しているか、もしくは高度人材の方々が都市部を好んで就職されているのではないかとと思われる。

#### ○J委員

「②姫路市工場立地促進制度について」だが、姫路市には工業用地がほとんどないと思われる。土地がないところでこのような制度を進めるより、調整区域を農地転用する等、一括した大きな土地を生み出すことを考えていないのか。

また、工業用地とともに工業用水も必要となるが、その確保はどうするのかもあわせて伺いたい。

企業は、交通や物流の便の良いところに進出したいと思うもので、他都市で良いところがあればそちらへ行ってしまうため、対応していくべきではないか。

また、「③外国人材について」だが、現在、外国との競争にさらされており、技能実習の内容によっては、外国に負けてしまっているところがある。外国人の待遇面の整備も考えていくべきである。

#### ○事務局

企業誘致の受け皿となる工業用地が不足していることは事実である。農地の転用も選択肢の一つであり、日々生み出す方法を考えている。

工業用水については、兵庫県と連携する中で、本当になのかというところも含め、話し合いをしている。過去からの経緯もあるため、企業の皆さまとも一緒に解決していかなければならない問題だと思っている。

外国人の受け入れは、国の施策に基づくところが大きく、受け身の姿勢になりがちであるが、我々の部署がこの7月から観光経済局となり、国際化関連の部署とも同じ局となったため、姫路市の魅力がなくなるということがないよう一緒に考えていきたい。

#### ○A委員

私からは「③外国人材について」のお話をさせていただきます。

我々は、外国人材の前に、理系の学生を採用するため、福井大学、鹿児島大学、近畿大学の支援を得て、採用活動を行っている。一定の効果はでていますが、他地域から人を呼んでくるのは非常にハードルが高い。ただし、このような活動をしなないとなかなか人材が集まらないのが実情である。

外国人材については、以前には、安い賃金を求めて技能実習生を雇用する企業もあったかと思うが、今の時代は、国のためにも、姫路市のためにも、優秀な外国人を正社員として採用することを企業にも要望している。

その点からも、コロナ前には、ベトナムのハノイ大学の学生を採用するといった活動を行っていたが、コロナによりこの活動をやめてしまった。ただし、滋賀県や堺市等、行政の力が入っているところは、現在もベトナムとの関係をうまく継続できている。海外の優秀な人材を採用していくためには、行政の支援が必要ではないか。

#### ○H委員

我々の大学も、マレーシアからの学生を転入学で受け入れているが、住居等に困ることがあり、受け入れ態勢について姫路市のサポートがあれば非常に助かる。

#### ○B委員

「①物価高騰の状況と対応について」だが、我々は、都市部から離れたところにある小規模事業者を中心に支援をしているため、小規模事業者等の声をいくつか紹介したい。

一つとして、小規模事業所では、キャッシュフローを考えると大規模な仕入れができないため、価格競争力のある大型店にお客さまが流れてしまうという声を聞いている。

また、建設業の免税事業者については、インボイス制度が始まるため、インボイス制度に登録しないと取引先の減少につながるが、取引先が減少になるからといって、消費税を負担する余裕もないといった声も聞いている。

次に「③外国人材について」だが、中播磨県民センターの協力を得て、外国人採用の活動を行っている。外国人を採用するにあたり、小規模事業所では受け入れのノウハウがない。そのため、我々は今年度、外国人受け入れのためのセミナーや事業所に対する研修等に取り組んでいる。

## ○C委員

中央卸売市場で青果の卸しを営んでいるため、「①物価高騰の状況と対応について」の現状をお話ししたい。

現状として、ウクライナの影響もあり、ガソリン等の物流関係の費用が、すべて商品の価格に転嫁されている。これまで、輸入果実は低価格であったため、喫茶店やケーキ屋等にとっても使いやすい商材であったが、円安により価格が上がっている。

農作物は、現在、東京と大阪に集まるようになっており、今は東京の商材を多く仕入れることができているが、2024年問題で、その道も閉ざされることとなるのではないかと大変心配している。

また、「③外国人材について」だが、季節商材の取り扱い時には、常勤の従業員以外にも多く雇用するため、外国人の方を雇用することもある。仕事もよくやってくれるが、突然の休み等、国民性の違いを感じることもある。

## ○D委員

当社では、農業機械及び建設機械のワイヤーハーネスを取り扱っており、7割をベトナムの工場で生産している。

「①物価高騰の状況と対応について」に関しては、現状、当社は黒字経営となっているが、ほとんどが円安による為替益によるものである。また、物価高騰の対応については、得意先に資料を提出して説明し、少しずつ価格を上げていただいている状況である。

「③外国人材について」は、外国人の雇用もしているが、文化の違いがあるため、考え方についても違いがあるものと頭に入れて指導をしている。

また、制度上、週に働くことができる時間が28時間と制限されている従業員がいる。永住権を取得するにも、所得面等、非常にハードルが高い。働きたくても働けず、これは制度として非常にマイナスである。

「②姫路市工場立地促進制度について」も、土地がなければ促進もできないため、調整区域については見直していただきたい。

## ○E委員

我々はスタートアップの施設であり、会員も個人事業主が多いため、意見交換の3つのテーマについては話に挙がらないので、問題点も見えてこない。

ただ、「③外国人材について」の個人的意見として、技能実習生や資格取得のための外国人雇用ではない形態で、外国人を雇用していくのであれば、姫路市で働く魅力は何か、企業にとってどんな人材が必要なかが明確でないと、外国人の雇用にはつながらないと思われる。

#### ○F委員

「③外国人材について」だが、先ほど話に挙げた外国人の住居の問題について、地域の理解を得るのが難しいところがある。ある会社が、一軒家を借りて外国人を住まわせているが、文化の違いもあり、受け入れが難しいとの話も聞いたため、住み良い環境づくりを進めることは必要である。

自治会も含め、外国人に対する理解を進めていくのは、行政の役割であると思うので、姫路市でも進めていただきたい。

#### ○G委員

「③外国人材について」だが、現状、必要な人材を確保するための着眼点は外国人になると考えている。

昨年度、兵庫県立大学のグローバルビジネスコースの学生たちに中播磨地域の企業を知ってもらうため、経営者協会の協力を得て、外国人留学生に企業紹介を行った。紹介するだけであれば、言語の壁はその日一日クリアすればよいが、働き続けるとなると、技術を教える言葉や、きちんと理解するため互いの言語力が課題となると感じた。

そこで、今年度は、中播磨地区商工会連絡協議会と調整し、企業間の異文化コミュニケーションの研修を実施していただいている。

また、介護人材の受け入れにおける産学官連携の例として、神戸市、神戸国際大学、社会福祉法人による「神戸モデル」が紹介されているので参考にされたい。

#### ○H委員

ここまで様々なご意見を頂戴したので、本日の意見交換はこれまでとしたい。

本日のまとめとして、本日皆さまからいただいたご意見を「今後展開する施策・事業の参考としていただきたい」ということを、この会議の確認事項としたい。

#### ○全員

異議なし。

○H委員

議事は以上で終了する。

○事務局

意見交換で挙げたテーマは、現在、我々が直面している課題である。本日、様々な具体的事例や経営者の生のご意見をいただいたので、このような意見を、今後の施策に反映できるよう取り組んでまいりたい。また、経済振興ビジョンについても、必要な見直しを図りながら、ビジョンに沿った施策を進めてまいりたい。

【出席者】

○委員（10名）

豊田 紀章	兵庫県立大学産学連携・研究推進機構 副機構長
三浦 永理	兵庫県立大学 大学院工学研究科 准教授
浅田 敦之	姫路商工会議所 事務局長
伊藤 恵介	姫路経営者協会 専務理事
大原 尚	姫路市商工会 事務局長
伊賀 千恵子	姫路商工会議所女性会 副会長
田路 加代子	姫路機械金属工業会 会員
細見 美香	起業プラザひょうご姫路 運営統括
山口 悟	姫路市議会経済観光委員会 委員長
大西 正子(代理)	兵庫県中播磨県民センター 交流観光参事

○姫路市（8名）

観光経済局長  
商工労働部長  
産業振興課主幹  
産業振興課長  
企業立地課長  
労働政策課長  
産業振興課職員（2名） ※ 事務局